

ライフスタイルを転換し、新しい文明の構築へ

私たちの食生活を見直しましょう
生長の家が日本国内で推奨する
食品選択の優先順位

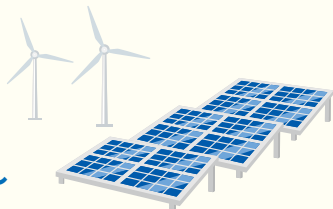
1. 自分で栽培した有機野菜、及びそれを使った加工食品
 2. 有機JAS認証のない国産の有機食品
 3. 有機JASマークが表示されている国産の食品
 4. 国産の減農薬・減化学肥料で栽培された農産物(特別栽培農産物)、その加工品
 5. 有機JASマーク等が表示されている外国産の食品
- 水産物は天然物を推奨しますが、入手困難な場合はフードマイレージの少ないものを選びます。

私たちが調達する食品で心掛けたのは、なるべく農業や化学肥料を使わずに、地産地消、旬産旬消で、食品の輸送距離の指標であるフードマイレージが少ないこと。こう考えて、生長の家では、日本国内で推奨する食品選択の優先順位を決めました。

私たち一人一人がよく考えて食品を選んでいくこと、一人一人がライフスタイルを転換していくことで、生長の家が目指す、自然と人間が調和した“新しい文明”を築き上げ、世界平和への道を歩んでいくことができます。

地球にやさしい 電力を選びましょう!

～脱原発と地球温暖化抑制のために～



2016年4月から電力販売の全面自由化が始まり、皆様のご家庭で使う電力も自由に選択できる時代に入りました。日本が、原子力発電に依存せず、火力発電を減らして地球温暖化の抑制に貢献していくためには、日本の多くのご家庭が自然エネルギー(太陽光、水力、風力、地熱)で発電された電力を積極的に採用していく必要があります。生長の家の信徒の皆様のご家庭から、率先してこの倫理的な電力の選択を行っていただき、「脱原発」と「地球温暖化の抑制」の実現に貢献してまいります!

■内容に関するお問い合わせは

生長の家 国際本部

<http://www.seicho-no-ie.org/>

環境共生部

TEL.0551-45-7747

2018年1月1日発行



この印刷物は、国産FSC認証紙を使用し「ライスインキ」で印刷しています。

2018年版

生活の記録表

信仰に基づく「倫理的な生活者」として
次の3つを実践しましょう。

- 1 ノーミート、低炭素の食生活
- 2 省資源、低炭素の生活法
- 3 自然重視、低炭素の表現活動 (2018年度 運動方針より)



『日時計日記』を付けましょう!!

谷口純子先生監修(『日時計日記2018年版』『日時計日記 自由版』『こども日時計日記』)

